

A1 地域の危険箇所や避難場所などの確認は 天草市防災マップで！

市は、災害の種類ごとに避難場所を指定し防災マップに掲載しています。同マップは各世帯に配布しているほか、本庁・防災危機管理課や各支所担当課に備え付けてあります。また、市のホームページでもご覧いただけます。

自分が住んでいるところが、どんなところなのかをしっかりとっておくことが大切です。



県の防災ハンドブックも配布しています。ご確認ください。

A2-A3 非常持出品、一度準備してみましょう。



すぐに持ち出せるように家の出入り口に近い場所に置いておけば安心です。

お子さんのいるご家庭は、おむつなどもリストに入れておきましょう。

- 非常持出品は、両手が使えるリュックタイプの袋などにまとめておきましょう。
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう。
- 自分や家族の状況に応じて、必要なものを選びましょう。
- 定期的に中身をチェックしましょう。



※非常食は乾パンや缶詰、栄養補助食品など日持ちするもの。水は大人1人で1日2～3リットル必要とされています。



平成27年6月11日五和町二江地区

災害は突然やってくる。備えは大丈夫？

梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風による洪水や浸水、土砂崩れなどが発生しやすくなります。また、最近は一局に集中して雨が降り続くことが多くみられます。災害はいつ起こるか予測が付きません。災害から身を守るための備えと、いざというときの行動について、いま一度考えてみましょう。

あなたは、いくつ答えられますか？

Q1 あなたの自宅に近い避難場所（風水害）はどこですか？

Q2 災害時に持ち出すものは？

Q3 大人1人、1日に必要な水はどれくらい？

Q4 避難するときは、車で避難する？

Q5 家族との連絡体制はできていますか？



土砂災害に備えましょう！

土砂災害は命に関わる重大な被害をもたらします。短時間にたくさんの雨が降るときには特に注意が必要です。



土石流

長雨や集中豪雨によって、石や土砂が水といっしょになって一気に下流に流れる現象。

- 山鳴りがする。
- 急に川が濁り、流木が混ざっている。
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。

崖崩れ

長雨や集中豪雨によって、斜面が急に崩れ落ちる現象。

- 崖から水が湧き出す。
- 崖に亀裂が入る。
- 崖から小石が落ちてくる。
- 崖から木の根が切れるなどの異様な音がする。
- 樹木や電柱が傾く。

地すべり

地下水などが粘土のようなすべりやすい地面にしみ込んで、その影響で地面が動き出す現象。

- 地鳴りがする。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面にひび割れができる。
- 斜面から水が湧き出す。
- 樹木や電柱が傾く。

※【土砂災害警戒情報】…大雨警報の発表中に、さらに土砂災害の危険度が高まったときに、県と気象庁が共同で発表するもの。市では、市内を東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）と西部（牛深・天草・河浦）に分けて発表しています。

市がお知らせする避難情報

- 危険度 ↓
- **避難準備・高齢者等避難開始**：避難に時間がかかる人（高齢者や障がいのある人、乳幼児など）とその支援者は避難を開始しましょう。そのほかの住民は、避難の準備をしましょう。
 - **避難勧告**：速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動がかえって命に危険をおよぼすような状況では、近くの安全な場所や自宅内の中でもより安全な場所に避難しましょう。
 - **避難指示（緊急）**：まだ避難していない人は、急いで避難場所へ避難しましょう。

天草市安心・安全メール

～市内の災害・防犯情報などが携帯メールに届きます～

避難勧告や避難所開設などの情報を電子メールで携帯電話やパソコンに配信するサービスです。

登録料は無料です。皆さん、ぜひご利用ください。

【登録方法】

re-ansin@amakusa-web.jpまたは右のQRコードにアクセスして空メールを送信し、返信メールの案内にしたがって登録してください。



QRコード

【問い合わせ先】本庁・防災危機管理課 ☎ 1111

A4 車での避難は控えましょう

車での避難は、緊急車両の通行の妨げになったり、交通渋滞を招きます。また、浸水すると動けなくなるので、特別な場合を除いて徒歩で避難しましょう。前もっての準備と早めの避難が自分の命を守ります。



空振りを恐れず予防的避難を！

夜間や大雨、台風接近時などは避難すること自体に危険が伴います。このため、市では危険が迫っていない明るい時間帯に避難所を開設し「予防的避難」を呼びかけています。空振りを恐れず、避難ができなくなる前に避難所へ行きましょう。なお、避難するときはできるだけ飲食物やタオルケット、懐中電灯などを持参してください。

A5 家族で確認しておこう！ How to 安否確認



災害時には、携帯電話などが通じにくいことがあります。

普段から災害が起きたときの集合場所や連絡方法を決めておくことで安心です。また、家にいるとき、会社・学校にいる場合など、それぞれの場面ごとに決めておくことも良いでしょう。

☎災害用伝言ダイヤル「171」

災害時に、固定電話、携帯電話などの電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができます。

【操作手順】 1. 「171」をダイヤルします。

2. 録音の場合は「1」を、再生の場合は「2」をダイヤルします。

3. 連絡をとりたい人の電話番号をダイヤルします。

4. 伝言を30秒以内で録音・再生することができます。



☎三角連絡法…被災地へは電話がつながりにくくても、災害が起きていない地域は比較的つながりやすい！そんなときは、被災地から離れた場所に住む親せきや知人が連絡係になれることもあります。

【暫定基準を解除】

昨年4月に発生した熊本地震で、震度5強以上を観測した天草市では、地盤の緩みを考慮して、大雨警報・注意報の発表基準が、通常より引き下げられていました。しかし、これまでの土砂災害発生状況や降雨の状況、危険箇所の点検結果などを踏まえて、4月27日からは通常の発表基準に戻っています。